

むらやま

がかいだより

発行：村山市議会
編集：議会だより編集委員会



写真：村山市立袖崎小学校
下校指導で敬礼!!

<http://www.city.murayama.lg.jp>

携帯からはコチラ



新議会体制決まる

一般会計と特別会計

24年度決算を認定

平

成25年第5回定例会は9月26日に招集され、10月15日まで20日間の会期で開催されました。平成24年度一般会計決算は前年比で市税で5千749万円の減少がありました。繰入金で6千370万円など1億2千623万円の自主財源の増加。依存財源では市債2億9千690万円の増

地方交付税1億8千410万円の減などで歳入は12億2千163万円となりました。歳出は前年比で民生費、災害復旧費、商工費が増となりましたが、土木費、労働費、公債費の減少で115億7千211万円となり、8億4千952万円の黒字決算となりました。

また7特別会計では歳入66億5千242万円、歳出65億3千839万円となり1億1千403万円の黒字決算となりました。一般会計と合せ総額9億6千355万円の黒字決算となりました。

一般会計並びに特別会計決算については決算特別委員会に付託し審査しました。

平成24年度決算のほかにも条例改正など4件、平成25年度補正予算6件、人事案件のすべての議案を可決しました。さらに議員発議3件を可決し閉会しました。

急速充電器



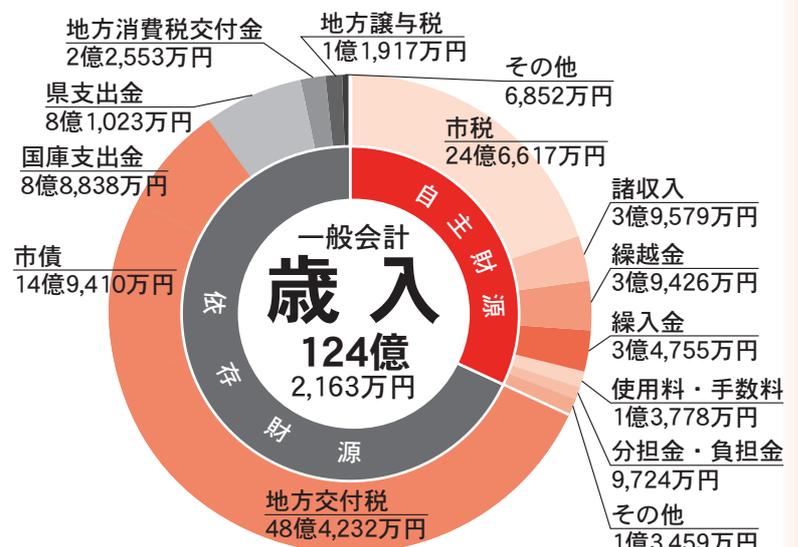
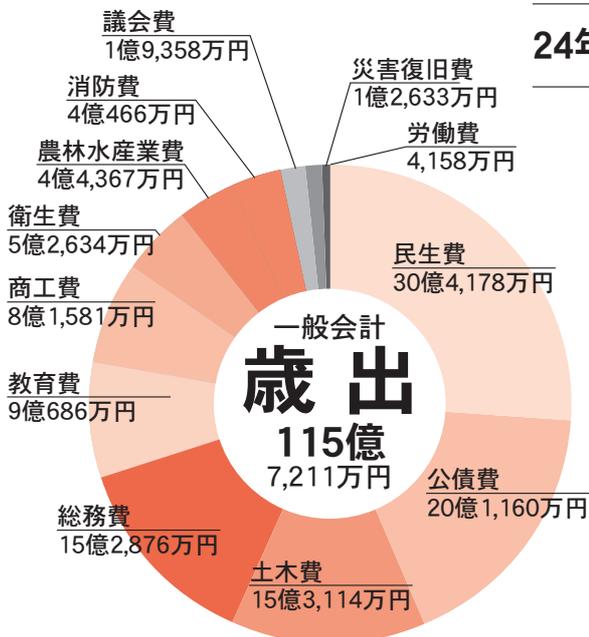
北町の定住促進住宅へのエレベーター設置



24年度に
実現した
事業です



24年度一般会計 8億4,952万円の黒字



決算特別委員会

委員長

茨木久彌

持続可能な 財政基盤を

平成24年度後半わずかな景気回復傾向がみられたものの、厳しい状況が続く中、行政改革を推進しながら「安心して暮らせる市民にやさしいまち」を目指した予算のもと、定住促進環境の整備、学校の耐震化、子育て環境母子保健の充実などの事業確保が図られ、市民に安心と期待をもたらすものである。景気回復の動きは続くと思われるが、市民が実感できる所得の増加には、時間がかかる状況にあり、持続可能な財政基盤を根付かせ、市民の生活が向上し、安全安心に暮らせるように、今後の財政運営にあたることを望むものです。

総務分科会報告

●消費生活相談は年々増加し、内容も多岐に亘つ

ており、専門的知識を持つ相談員の育成を望む。

●充実した市職員研修体制の検討を望む。

●戸籍総合システム・総合行政情報システムの効果的な契約のあり方を要望する。

●甌葉プラザの管理運営は費用対効果、ランニングコストを考慮し維持管理を望む。

文教厚生分科会報告

●子宮頸がんワクチンの積極推奨が中止しているが、再開の準備及び中止により補助対象年齢を超えた補助対応を要望する。

●婚活推進事業は人口増加につながるもので、市内独身者が気軽に参加できる事業展開を要望する。

●断水時の火災を想定した準備を進めるよう望む。

●利用者の少ない葉山林間キャンプ場の継続、廃止の検討を望む。

●自然体験交流施設「やまばと」の風呂場が小さい。大勢の利用を考え改修を希望する。

●給食費の未納は教育委員会も責任を持ち対応す

むらやま道の駅の



葉山中ソーラーパネル



産業建設分科会報告

●楯岡中学校グラウンドの再公認を要望する。

●企業誘致は難しい状況にあるが、誘致と並行して市内企業の育成と、企業に助言できる専門的人員の増員を要望する。

●除雪オペレーターの高齢化、除雪組合体制の充

るよう要望する。

産業からの参入を支援するなど、農工商連携の取り組みを進めるよう望む。

●断水対策に幕井貯水池等の整備など自己水源の確保を要望する。

議案

補正予算

一般会計3億4千728万円を補正(主なもの)
1、特別養護老人ホーム整備に係る貸付金1億4千万円
2、道の駅ローズブリッジ融雪ヒーター更新費1千310万6千円
3、消雪道路施設整備費3千869万円
4、防災行政無線整備費2千430万8千円
5、農業施設災害復旧費(大久保遊水地)2千万円

請願

▼新聞の軽減税率に関する請願(継続審査)

議会発議

▼村山市議会委員会条例の一部改正(全会一致)
▼TTP交渉における聖域品目の関税化の確保を求める意見書(全会一致)
▼地方税財源の充実確保を求める意見書(賛成多数)

条例

▼村山市課等設置条例等の一部改正(賛成多数)

(企画財政課を政策推進課と財政課に改める)

▼村山市市営バスの運行に関する条例の一部改正(全会一致)

人事案件

▼副市長 齋藤 隆(大倉)

▼教育委員 菊地 和郎(楯岡)

臨時議会

- 1、第3回臨時会（平成25年7月19日開会）
 - 大久保小学校校舎等改築主体工事請負契約（契約金額6億4千575万円）を可決
 - 2、第4回臨時会（平成25年8月23日開会）
 - 職員の給与を減額
 - 全体で平均4.6%・約3千万円の減額
 - 一般会計及び特別会計予算を補正
- 今年7月豪雨に係る災害復旧費など一般会計で約1億7千万円の補正のほか、特別会計補正予算を可決した。
- 3、第6回臨時会（平成25年11月5日）
 - 一般会計予算の補正
 - 除排雪用トラック2台、楯岡小学校調理室冷房工事費及び公用バス購入費を補正（補正額3千879万2千円）

審議結果報告（8月臨時会・9月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました）

議案等の名称	議員名	新市政クラブ										青風会		日本共産党 村山市議団		無会派			賛成	反対
		井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘	須藤和幸	能登淳一		

◆平成25年第4回臨時会（8月23日）

市長提出議案	補正予算	議案等の名称	議決結果	新市政クラブ										青風会		日本共産党 村山市議団		無会派			賛成	反対
				井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘	須藤和幸	能登淳一		
市長提出議案	補正予算	村山市職員の給与の特例に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
		平成25年度村山市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
		平成25年度村山市国民健康保険事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
		平成25年度村山市公共下水道事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
		平成25年度村山市介護保険事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
市長提出議案		平成25年度村山市水道事業会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2	

◆平成25年第5回定例会（9月26日～10月15日）

市長提出議案	議案等の名称	議決結果	新市政クラブ										青風会		日本共産党 村山市議団		無会派			賛成	反対
			井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘	須藤和幸	能登淳一		
市長提出議案	平成24年度村山市一般会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
	平成24年度村山市国民健康保険事業特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
	村山市課等設置条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議	12	4
市長提出議案	村山市市長等の給与の特例に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	議	13	3	
	村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議	13	3
議員提出	発議15号 地方税財源の充実確保を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	議	13	3

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 ⊖=否決 ⊙=賛成 ⊗=反対 ⊕=欠席 ⊖=退席

新議会体制が決まりました

11月1日～5日に臨時会が開催され、正・副議長の選挙をはじめ、議会運営委員会や各常任委員会委員等を選出し、新しい議会体制が決まりました。
 また、議第76号平成25年度村山市一般会計補正予算（第4号）が提案され全会一致で可決されました。補正額は3千879万2千円で、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ125億3千923万となります。



副議長 大山 正 弘



議長 海老名 幸 司

— 議長就任の挨拶 —

この度、荣誉ある23代議長に御選任を賜わり心からお礼申し上げますとともにその責任の重さを痛感しているところであります。今、本市は年を追うごとに人口が減少しているだけでなく、少子高齢化の進行や財政事情の厳しさなど、様々な課題に直面し活力、元気が失われています。他方、市民の一致した願いは、活力と魅力にあふれる安全で住みやすい街づくりを進めることにあると思われまます。こうした状況の中で議会の果たす役割、責任には大きなものがあると考えます。そうした市民の負託に応えるべく存在感のある議会のあり方を希求していく所存であります。

また、公平、かつ公正な議会運営を心がけるとともに議会基本条例に盛られた理念を最大限尊重し、議会の更なる活性化と機能の向上に向けて全力を尽くしてまいりたい所存であります。市民の皆様はじめ関係各位の従前にも増したご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げ就任の挨拶に代えさせていただきます。

◆議会選出監査委員	佐藤 昌昭
-----------	-------

◆委員会等の構成

	議会運営委員会	常任委員会			議会だより編集委員会
		総務	文教厚生	産業建設	
委員長	長南 誠	井澤 秋雄	長谷川 元	秋葉 新一	大山 正弘
副委員長	長谷川 元	布川 淳一	佐藤 敏彦	川田 律子	川田 律子
委員	須藤 和幸	柴田 好美	大山 正弘	海老名幸司	秋葉 新一
	秋葉 新一	鈴木 健治	森 一弘	須藤 和幸	能登 淳一
	森 一弘	佐藤 昌昭	中里 芳之	茨木 久彌	布川 淳一
	中里 芳之	長南 誠		能登 淳一	長谷川 元 井澤 秋雄

◆一部事務組合議会議員

東根市外二市一町共立衛生処理組合	森 一弘	川田 律子	井澤 秋雄	
北村山公立病院組合	海老名幸司	秋葉 新一	中里 芳之	長南 誠
北村山広域行政事務組合	鈴木 健治	佐藤 敏彦	長谷川 元	
河北町ほか2市広域斎場事務組合	茨木 久彌	柴田 好美	布川 淳一	

ここが聞きたい 一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は
9月30日・10月1日に9人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



幕井ランド計画について

長南 誠 議員

Q まちの発展、衰退のバロメーターは人口の動向と考える。合併時に比べ1万6千人減少した。要因は雪、交通、働く場所等課題が多い。人口減少対策を伺う。

A 放置しては将来公約を基に、「次世代に引き継ぐ魅力ある村山市」を目標に、長期的視点に立ち進める。子どもを育てる世代の優遇策を立てる政策を進める。教育の充実で底上げを図り、全体の向上を目指す。

Q 低料金で入浴できる温泉施設、大雨による断水対策の幕井浄水場の復活は、多くの市民が望んでいる。「幕井ランド」計画構想を伺う。

A 水源、バラ園、遊園地を含めて考えている。特に要望のあった温泉施設を考えている。自主水源の浄水場の復活

と遊園地、温泉、シーボルトラインを合わせ総合的に一帯を開発する。

Q 雪対策、楯高跡地の活用、商店街の活性化について伺う。

A 場所によって除雪、消雪、流雪溝を組み合わせ、きめ細やかな態

勢で臨む。楯高跡地は県所有であり市民、議員と話し合い最適なものを示し進めたい。商店街については専門家に依頼し青写真を作っていく。近代

的な街並はむずかしいが、レトロ調でおちつく街を作っていきたい。



幕井ランド建設予定地



村山産業高校関連道路の整備

井澤秋雄 議員

Q 村山市の重要事業として要望している通学路について、都市計画道路として整備すべきである。市と議会が一緒になって実現すべきであると考えますが、市長の意気込みを聞きたい。

A 旧国道と検討案との車の流れを検討して進めたい。

Q 今や情報化の時代、地域の魅力を世界に発進出来る時代であり、国も、グローバル外交ネットワーク外務省地方連携推進室を設置し、地方の魅力を発進する場を提供している。若い人の研究者チームを養成し、小さい町ながら「一段と輝く村山市」を目指すべきと思うが市

長の認識を伺う。

A 私の目指している「次世代」と一致する世代別に意見を聞いて新しい村山市を目指したい。

Q 楯岡高校跡地活用問題は極めて重要である。跡地活用のイメージとして市長の希望を聞きたい。

Q 防災無線の改修計画が進んでいると思うが、民間のコミュニティFM立ち上げと協力して進めていってはどうか。

A 平成26年度更新に向けて実施設計の業務委託を行い現在調査中で55か所のスピーカーの再編を行う。FMについては今後検討したいが、スピード感が大事。こちらから民間へ話しかけながら進めていく。

Q 前市長時代に検討されていた東沢公園の児童遊戯施設だが、新市長になり今後の考え方は。車以外の観光客が東沢公園から市内の他の観光地に行く2次交通は、バスなどなく問題だ。乗合いタクシーやバスなど今後

対策が必要では。

A 市長公約で出た幕井ランドに児童遊戯施設をまとめる可能性もある。長所を研究して今後検討したい。2次交通は費用対効果を検証しながら検討したい。



若者が集まる屋内型スケボーパークを

長谷川 元 議員



明春開校の村山産業高等学校

Q 2020年東京オリンピックピック、パラリンピック決定をきっかけとしてスポーツを推進したいものである。楯岡中学校のグラウンドも再び公認グラウンドとすべきである。

A 予算のめどをつけて目指したい。

Q 若者が集まる町づくりのための方策として、廃校などを利用した、屋内型スケボーパークの設置を検討してはどうか。寒河江の例もあるが同じような施設では競合してしまう。冬期間も使える屋内型こそ独自性がある。

A 若者達の考えについて分析したいと考える。市内の廃校体育館という枠にとらわれず検討していきたい。



廃校利用した屋内スケボーパーク



市職員の採用計画について

佐藤敏彦 議員



市役所業務は市民生活に直結している

Q 第5次総合計画について、選挙公約「5つの決断」をどのように盛り込むのか。基本計画、実施計画の策定手順行程はどのように考えているか。

A 計画策定は、今年度中に限定しないで、

速やかに進める。

Q 市職員の採用計画について、市職員の定数は、行政改革が進められ、本年度4月現在で310人に削減された。しかし、地方分権が進み、国・県からの移管事務が増加し、市独自の事業・業務も拡

大し、市民の要望への対応など職員の事務量が年々増えている状況であり、逆に不足しているのではないかと。また、職員の削減は、行政サービスの市民生活に影響を及ぼしてはいないか。市役所の業務は、一般事務のほか、消防、水道企業、保育業務など、専門的な部門も多く、単なる数の削減によることなく、全体のバランスを考慮して対応することが必要と思うがどうか。さらに、計画的に職員を採用しないと市役所職員のリーダー育成、将来の人事管理にも影響が出ないか。

A 市職員の採用計画は、間断なく最低でも数人を採用するよう担当に話している。将来に影響が出ないよう職員採用を行っていききたい。



観光施策の充実を

秋葉新一 議員

Q 市民の健康増進と交流人口の拡大の狙いのひとつとして、野山や温泉など自然の力を利用して、野山のウォーキングや温泉での運動で心と体を整える保養地を目指す取り組み、「クアオルト事業」を新たにしたクアハウス基点を中心に実施できないか。

A クアハウス基点を中心として交流人口を増やす施策、提言を含め検討し、進めていく。

Q 心の病の早期発見ツールとしてゲーム感覚で自分でメンタルヘルスチェックができる「こころの体温計」を市のホームページに掲載し、うつ病の早期発見、早期対策のため導入すべき。

A 自殺対策として大変有効であると聞いています。今後成り行きを見て決めていきたい。



村山は山の幸も豊富。秋の味覚「松茸」

Q 交流人口の拡大、地域経済活性化につながる観光施策の充実を図るべき。地域の人が、若者が企画する「着地型観光」の取り組みを、村山の豊かな「食」を利活用した新たなメニュー作り、ボランティアガイドの育成を。

A 観光ボランティアの育成、当然必要だ。いろんな手を打っていく。

Q 「緊急安心カード」の子供版、キッズ版ができないか。

A 実際に有効であるならば、教育委員会、消防署と相談し、考えていく。



市長の政治姿勢を問う

中里芳之議員

Q ①来年4月から消費税増税が実施されたら、市民生活が一層厳しくなり、地域経済や好転してきた市の財政も大きな打撃を受けるのではないかと。②消費税増税の影響緩和策の目玉は大企業減税。消費税を国民に押し付けるため大企業に減

税するなど本末転倒と思わないか。

A ①現時点でいるんなら、攻撃やうがった見方はしなくていい。増税はある意味妥当。②大企業が元気になるれば地方も元気づくのはこれまで証明されてきた。今の大企業への少しの減税は理屈に

合う。大企業への優遇は労働者への優遇と同じだ。

Q ①市長は「保育料の半額補助」を公約したが、保育料だけでなく、児童館使用料や私立幼稚園の保護者負担も含むのか。また、現在半額の第二子についてもか。②子育て支援医療や学校給食費の負担軽減も、さらに拡充すべきではないか。

A ①まずは第一子について実施したい。第二子・第三子についてはまだ考えていない。「保育料等の半額」の「等」には児童館使用料も含まれる。②今検討中。

Q 職員を減らしても「住民サービスは低下しない」というが、その根拠は。②「民間と市職員のギャップ」とは具体的にどのようなものか。

A (答弁なし)



来年4月から消費税が8%に増税



市民が期待する除雪・搬雪は

川田律子議員

Q この度の村広水による断水は依存率の高い本市にとって課題の多い事態となったが、災害時を想定して非常時の自主水源の確保について市長の考えは。また市長は幕井の浄水場も含めた幕井ランドの構想を語っているが、私は現在使用している葉山水系の簡易水道の水量の確保、保全、有効活用も含めた自主水源の向上。また水源のある他市からの連結なども考えるべきと思うが。

A 簡易水道の利用も考えられるが、幕井にあるものを利用して30億円かかる。新規に作るであればどれ位かかるか見当もつかない。村広水も減らせないと聞いている。近隣の市から果たして非常時に来るだろうか。この度の断水で村広水から受水している6市町の内3市町が自主水源の確保

に踏み切っている。3%しか自主水源のない当市でも確保すべきと考える。

Q 市長公約の除排雪・搬雪に市民の大きな期待が寄せられている。現在、約200世帯の高齢者世帯などの家の前に雪を置かないなど配慮した除

雪を行っているが拡充する考えは。

A 家の前に固い雪を置かないようにして、集める場所を作り、搬出するのが基本的な考え方。高齢者世帯だけでなく、市民を対象に考えている。



葉山のブナ清水 (山の内)



将来に向けての村山市

大山正弘 議員



冠水した大久保村山停車場線

Q 今夏集中豪雨による大久保村山停車場線の不通については。

A 県道大久保村山停車場線は遊水地内の道路であり、冠水することが前提であり、通行止めになっても稲下経由で可能で、住民からの苦情も無いが、将来河島南部と

大久保をつなぐ東西1号線を計画する場合、数十億円の事業が見込まれるため大きな疑問があるのでは。

Q 幕井浄水場復活に際し大きな課題とは。

A 築80年で当時の貯水量8万2千tであり、現在は40%の貯水率で、

満水するには提体の改修が必要で約2億を見込む。復活費用30億円の根拠についてはどうか。

A 厚生労働省が示す水道事業の再構築に関する手引として1日1千500tとすると約28億になり提体漏水防止に2億計30億円が必要である。

Q 東沢バラ公園への思いと将来の展望と、児童遊園地の設置は。

A 現バラ公園駐車場の南側に設置したい。現在の児童遊園地は、規模的に小さい。もう一度見直しをし、規模の大きい芋煮会もできるようなものを考えたい。さらに浄水場と遊園地を含め温泉セットで考え、風光明媚なこの地に温泉開発し、風呂に入れるようにしたい。村山市の健康づくりのために長期的な企画をつくりたい。検討する。

Q 平成28年度に楯高は廃校する。少子化、過疎化が進む中で高校再編の一環として楯高が廃校するのは残念ではあるが仕方ない面もある。現在の楯高は生徒数600人、教職員を含めれば1日約650人も人々が徒歩、車などで往来する本市の基幹施設である。もし、これがなくなれば、駅や図書館などの利用も激減するだけでなく、中心市街地は増々衰退していくと思われる。楯高の廃校は県にとっては教育問題に過ぎないが、本市にとっては将来の命運を左右する街づくりの根幹にかかわる問題である。そこで、跡地利用は楯高に匹敵する施設の誘致、建設を考

えるべきであり、土地利用も一体的に考えるべきではないか。さらにどんな施設を誘致するのであれば現在の環境では難しい。

A 跡地活用に関して市が活用するのであれば土地を分割することはしない。また跡地利用と一体となつて楯岡地域全体をデザインしていきたい。

そこで楯岡全体を開発していく構想が必要であると考えerがどうか。

A 跡地活用に関して市が活用するのであれば土地を分割することはしない。また跡地利用と一体となつて楯岡地域全体をデザインしていきたい。

短期的に雇い、グラウンドデザインをしてもらえばいいと考えている。

い。都市計画の専門家を短期的に雇い、グラウンドデザインをしてもらえばいいと考えている。



楯高跡地活用の方向性について

海老名幸司 議員



現在の楯岡高校

市民の声



湯野沢伝統芸能保存会
会長 宮崎良春さん(湯野沢)

地区の方々はもちろん、地区外の多くの皆様のご支援・ご

協力のお陰をもちまして、この9月の2日間において10年に一度の「湯野沢熊野大祭」を盛大に執り行うことができました。この場をもちまして深く感謝と御礼を申し上げます。

大祭は、古来より社殿の修復や再建を行ったときに、そのお祝いとして行われてきました。この度で41回目を数えるこのお祭りは、湯野沢において、歴史と伝統とともに最も大事にされてきた行事で

す。各地区それぞれの出しもので参加しますが、地域全員の協力があって成り立っていくために、個々人の忙しい生活環境の中でも、それぞれのお立場の役割を精一杯して頂き、皆の心が一つになっていったのも大きな喜びです。

私自身としましては、この貴重な大祭の一端に関わることができ、お手伝いできたことを幸せに感じているところです。



奴の皆さん



稚児たち



獅子と鉦の皆さん

議会報告会のご案内

◎11月18日(月)

午後7時～

- ☆榑岡 甌葉プラザ
- ☆大久保 地域市民センター

◎11月19日(火)

午後7時～

- ☆西郷 地域市民センター
- ☆富本 榑自治公民館

市民の皆さんの御出席をお待ちしております。なお出席される方はこの議会報をお持ち下さい。

委員長
副委員長
委員

須藤 和幸
井澤 秋雄
秋葉 新一
川田 律子
長川 淳一
布川 淳一
長谷川 元

議会だより編集委員会

第2回

議会だよりクイズ <当選者決まる>

平成25年7月15日発行(No.78号)の議会だよりクイズの当選者が決まりました。

クイズの答え

- Q1: クアハウス基点の新しい浴場のオープンは〇月〇日 **6月15日**
- Q2: 甌葉プラザは、今年5月29日でオープン〇年目 **4年目**
- Q3: そして、利用者は、およそ何人ぐらいか。 **80万人**

◎今回は、紙面の都合から、クイズは、お休みさせていただきます。ご了承ください。

議会中継スタート

今年9月26日開会の市議会9月定例議会からインターネットを利用した議会中継を行っております。市民の皆さんがご家庭でも議会の様子をのぞくことができます。なお、議会傍聴は、これまでどおり行っております。

- パソコンをインターネットに接続されていることが必要です。
- 村山市のホームページを開き、「村山市議会」をクリックします。
- 議会開会中は、生中継をご覧になれます。「ライブ映像」をクリックします。
- 録画映像もご覧になれます。「録画映像」をクリックします。(本会議のおおむね5日後(休日を除く。))からご覧になれます。

<ご注意> 配信されている映像及び音声は、公式の記録ではありません。市民の皆さんに議会の様子を出来るだけ早くお知らせするものです。